

# moritomirai

森の未来を考え  
森のことを知る  
カードゲーム

## カードゲーム「moritomirai(モリトミライ)」とは？

日本は国土の67%を森林が占める、世界有数の森林大国です。日本人は長らく衣食住・エネルギー・レジャーなど様々な恵みを森林から得てきましたが、森の現状に関して理解・関心はまだまだ低く、中には誤った知識が流布していることもあります。

そんな陸・森の豊かさと抱える課題を知り解決すべく、山梨日日新聞社が進める「やまなしSDGsプロジェクト」のメインアクション「moritomirai」の一環として企画・制作。(株)プロジェクトデザインと共同で、楽しく学び課題解決の取り組みに向き合うためのカードゲームを開発しました。



学習①



### 森の役割と私達の生活の関わり

「カーボンニュートラルへの貢献」「災害の防止」「森の恵みの産業化」など、森が果たす役割は多岐にわたりますが、多くの方が森の役割に関して部分的な理解にとどまっています。

森が抱える様々な可能性と問題の繋がりを知ること、わたし達ができるアクションをゲームを通して考えます。

学習②



### 経済活動と森林資源の 好循環を生むことの大切さ

一度でも人の手が入った森林(人工林)は、手入れ・管理を続けていかなければ、健康には育たなくなります。森を持続可能な状態に保つため経済・森林資源面でも循環を生むことが重要です。

手入れとしての定期的な間伐や、育った木材や周辺の産物を商品として流通させることの大切さを学びます。

学習③



### 協働し、共に取り組む ことの大切さ

豊かで健康な森は、一個人や単体の組織の動きではなく、様々な市民・組織の活動が複合的に絡み合うことで初めて実現します。複数の市民や組織が、各々の価値観で動くのではなく【どのような森を作りたいか】を考え・発信し・協力し合うことで初めて『森と私達の未来』が明るいものになることを伝えます。

子供も大人も  
楽しみ、学ぶ

## ゲーム体験会 開催

日時 2023年12月23日(土) 10:00 - 12:30 費用 無料

場所 土佐女子中学高等学校  
多目的ホール(高知市追手筋2丁目3-1) 定員 40名

申込期日 2023年12月20日(水) お問合せ 土佐女子中学高等学校 北川 力  
E-mail: chicara@mbk.ocn.ne.jp TEL: 080-3163-5479

主催 高知県青年団協議会 協力 公益社団法人高知県森と緑の会「緑と水の森林ファンド事業助成金」

[カードゲーム moritomirai(モリトミライ)] <https://www.projectdesign.co.jp/moritomirai/>





## 楽しみながら森林の現状や 持続的な活用について正しく学ぶ

山の所有者・住宅メーカー・森林組合・学校の先生・猟師など様々な仕事やゴールを持った10種類のプレイヤーとなって、仕事や生活のアクションを繰り返し、刻々と変化する場を肌で感じながら、その中で「森の未来」について考えるゲーム。それがカードゲーム『moritomirai(モリトミライ)』です。



- 子供から大人まで、幅広い年代・職種の方がプレイ可能 -



### 小学校～大学

SDGsや環境教育、林間学校・修学旅行などの校外学習の導入として



### 企業

環境イベントなどでの環境啓発活動の1つとして



### 自治体

「森林環境譲与税」を活用した啓発活動や地域向けワークショップとして

▶ Youtube

遊び方や実際の様子は動画からご覧ください。



※画像は開発中のものになります。実際とは異なる場合があります。

## 体験者の声

森への関心が高まれば高まるほど、森への知識が身に付くので、土砂災害や森の問題に対する対策が打てるようになって感じました。

[小学生 Aさん]



森は誰か一人の活動で変わるわけではなく、林業従事者や行政、民間企業、一般市民などそれぞれの関わりがあるからこそ変えられることを実感しました。

[不動産業 Sさん]



市町村による森林整備に必要な財源を確保するために創設された森林環境譲与税ですが、用途に悩む自治体も多い。行政内での研修や市民向けのワークショップで活用できると感じました。

[自治体職員 Aさん]



## ご体験いただきたい方

- 森の現状や持続的な活用について学び、気づきを深めたい方
- 森林資源の活用や森林保護、森を通じた地域の資源活用に関心のある方・取り組んでいる方
- 将来、子どもたちに豊かな自然を残したいと環境教育のツールを探している方
- このゲームのファシリテーターとして、我々と共に世の中に広げていきたいとお考えの方

初対面同士でも大いに盛り上がるため、環境教育や持続的な森林問題の啓発ツールとしてだけでなく、社員や地域の交流・親睦を深めるコミュニケーションツールとしてもご活用いただけます。

## ゲームをご利用いただくには、2つの方法があります。

### ① 公認ファシリテーター制度

ライセンスを取得いただきファシリテーターになっていただくことで自由に運営していただくことが可能です。

### ② 運営事務局への開催依頼

学校の授業や企業研修などにプロ講師を派遣しゲームを運営します。



※詳しくはホームページをご覧ください。

開発・運営

Project Design

人と組織・社会の課題をビジネスゲームで解決する会社として、2010年に創業。以来、トヨタ自動車株式会社やヤフー株式会社など100種類を超えるビジネスゲームを開発。私たちのビジネスゲームを活用した研修は企業・官公庁・学校・国連本部等の様々な組織で実施されている。(これまでに20カ国・20万人以上の国と方々へ実施)



山梨日日新聞社

山梨日日新聞社は、創業150周年企画の1つとして産学官民で連携して進める「やまなしSDGsプロジェクト」を企画。そのメインアクションとして、森を持続的に活用するため「moritomirai」に取り組んでいる。

